

ミズネコノオ *Eusteralis stellata* (Lour.)Murata

【選定理由】

個体数階級 2、集団数階級 2、生育環境階級 3、人為圧階級 3、固有度階級 2。全国的に減少傾向の著しい低湿地性の植物で、愛知県では生育地も個体数も少ない。

【形態】

1年生草本。茎は高さ 15～50cm で軟らかく、中央付近で多数の枝を出す。葉は 3～6 枚が輪生し、無柄、葉身は線形で長さ 2～6cm、幅 2～4mm、先端は鋭頭～鈍頭、辺縁は全縁である。花期は 8～10 月、茎および枝の先端に、長さ 2～5cm、幅 4～5mm の穂状の花序をつけ、花を密生する。花冠は白色または淡紅色、長さ約 2mm、雄ずいは長さ約 3mm で花外に突き出る。

【分布の概要】

【県内の分布】

新城(小林 39703)、豊川宝飯(加藤等次 9132)、額田(小林 65245)、安城(小林 67789)、瀬戸尾張旭(大谷敏和 86)、江南丹羽(竹原芳子 1301)、春日井(村松正雄 14805)、名古屋北部(鳥居ちる子 2397)、豊橋北部(石巻山、鳥居喜一 8104, 1952-9-14, HNSM)、豊田北西部(猿投村加納、井波一雄 s.n., 1960-10-23, CBM193595)、犬山(羽黒村、井波一雄 s.n., 1944-12-25, CBM128618)、岩倉西春(豊山豊場、井波一雄 s.n., 1934-10-15, CBM128603)で採集された標本もある。

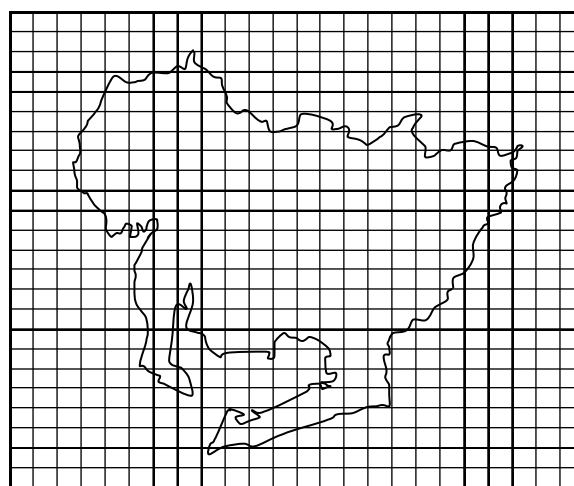
【国内の分布】

本州、四国、九州、琉球(徳之島)

【世界の分布】

日本、朝鮮半島、中国大陸、東南アジアに広く分布する。

要配慮地区図



【生育地の環境 / 生態的特性】

水湿地、湿田、休耕田などに生育する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林				
草・岩				
湿地				
水域				

【現在の生育状況 / 減少の要因】

1年生草本であるため生育状態は不安定で、継続的に確認できる場所は少ない。

【保全上の留意点】

本種が生育できるような湿田は、農地改良の結果、全国的にも愛知県でも急激に減少している。しかしその努力は、一方でそのような環境に住んでいる生物の生活の場を奪い、生物多様性の減少を招いている。住民の利益と生物多様性の保全をどう調和させるかは、今後の重要な課題である。過去の稲作様式を示す文化遺産としても、保全の必要性が高くなっている。

【特記事項】

稲刈り後の水田に生育する個体は、極めて小型の状態でも花をつける。彩色画はレッドデータブックなごや 2004 植物編 図版 6 に掲載されている。

【関連文献】

保草本 p.172、平草本 p.83、SOS 旧版 p.76、環境庁 p.522、SOS 新版 p.138,140。